

## No. 2332 王滝川、鈴ヶ沢（都合により赤木沢は中止）

2012年9月15日（土）～16日（日） 参加 嶋原（記） 以倉 佐藤

9月14日（金）新大阪22時出発～名神～中央道中津川IC～R19～元橋K20～王滝～鈴ヶ沢橋ゲート着 3時30分着。テントを張り寝る

9月15日（土）晴れのち小雨 入漁料を取りに5時頃起こされる（我々は沢登りのため不要）7時出発から30分歩き三沢橋から入渓する（時間を短縮するには林道をもう30分歩き入渓すると1時間は短縮できる）すぐに滝が現れ右側を登り ナメ、巻き道を繰り返して次の入渓地点まで1時間30分以上かかる ナメ巻きの繰り返しながら大滝35mを巻き道100m以上登り下る ナメが多くある沢で滝はほとんど巻かないと登れない トイ状の滝とナメ滝を右巻きに進み次に洞穴滝に着くがここで落ちたら一人では遣い上がれない 次に横穴を過ぎ三俣に12時頃着く 左の沢を登りるが上部辺りの崩壊がひどい ようやく13時過ぎ稜線に出る 1985年9月に起きた中部地震（M6, 8）の影響で御嶽崩れが現れ その崩壊の大きさに驚かされる 小三笠山は左の山と思えるがルートがさっぱり分からず右おう左おうするも分からず しかたないので右の三笠山を目標と変更する ここから薺こきの始まり とにかく北東方向に道を取りシラビソの下の笹薺を1時間余り過ぎたところに登山道が急に現れる ここは右にとり三笠山の田の原へと30分弱で着く（最初から東俣を遡行すればこんな苦労は要らない ただし小三笠山から中俣を下る計画のため今回の薺こきとなった）田の原からバスで王滝に出 そこから観光案内所で交渉し鈴ヶ沢橋まで送ってもらった

（ナメの好きな人にはもってこいの沢で時間があれば稜線で1泊出来る）

9月16日（日）晴れ 今日6時前に起こされる 昨日と同じく入漁料かとおもいきや今日はマウンテンバイクのレースが有り（120kmを走覇）王滝を6時出発で1000人以上の参加があるとの事で急遽テントの撤収を強られる 6時20分頃先頭集団が現れ最後尾が通過するまで40分かかる その後ゆっくり朝食を済ませ9時前出発途中で温泉に入る予定が一軒目は見過ごし通過 二軒目は廃業で入浴なし新大阪15時前に着く